

# キャリアアッププログラム2024（2学期）講座シラバス

【エントリー科目】

科目名	ローカルブランディング入門	
副題	地域資源をブランディングしてグローバルで稼ぐ	
受講対象者	地域の特産物生産・製造・販売、伝統工芸の製造・販売に携わる方、メディアやEC通販の新規事業に携わる方、地域活性化に携わる行政関係者	
講座概要	地域には、多くの魅力ある特産物や技術が継承されていますが、商流や市場の変革により、商品力を失っているケースも多々見られます。商標権等知的財産権（IP）を取得し、デジタルメディア（技術）を活用することで、ブランディングにより地域の競争力を獲得し、活性化を図ることが可能になります。そうした事例や取り組み方、考え方を概括的に紹介します。	
到達目標	ローカルブランディングの意義、目的、手法に関して基本的な知識を身に付け、自身が関わる地域においてローカルブランディングの主導的役割を担う意識を持つ	
講義計画	第1回	今なぜローカルブランディングなのか？（ブランディングの基本）
	第2回	広島ものづくりDNAを知る
	第3回	D2Cが地域の未来を拓く
	第4回	地域におカネを落とす仕組み
	第5回	ヨーロッパのラグジュアリーブランドに学ぶ
	第6回	ローカルブランディングの可能性（私案の提示）
講義の形式	座学中心で実施します。	
講義方法	対面講座	
講義の進め方	毎回、講義の後、質疑応答。最終回に個人作業を行いレポート提出を求めます。	
教材などの追加負担	教材の負担はありません。	
受講者へのメッセージ	地方創生が謳われ、コロナ禍のワークスタイルの変化も受けて、地域の働き方、暮らし方にも変化が見られてきました。地域が活性化するには、「地域の宝」で域外・海外の市場を開き、マネタイズすることが必要です。そのための切り口や手法、仕組みを一緒に考えましょう。	
講師紹介	<p><b>井上英之（いのうえ ひでゆき）メディアビジネス学科 教授</b></p> <p>1958年広島県広島市生。京都大学法学部卒。1981年株博報堂入社。博報堂を皮切りに、さまざまな事業母体で、国際博覧会・WEBリサーチ・出版・キャラクタービジネス・動画配信等知的財産権を活用したメディアビジネスの企画・プロデュースを経験。2013年広島にUターン。2015年～2020年まで広島県地域力創造アドバイザーとして、広島県の定住促進施策に携わる。「地域課題をメディアビジネス的に解決する」人材の育成、事業の構築を目指している。</p>	